

報道関係者 各位

POTENTIAL MEETS YOU の開催について

標記の件について、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 行事名 POTENTIAL MEETS YOU
- 2 日 時 令和3年11月30日（火）
9：35～12：10（2校時～4校時）
- 3 場 所 島原高等学校体育館
- 4 主催等
共催 味の素株式会社・TOTO 株式会社・清水建設株式会社・
株式会社 JTB
メディア協力 朝日新聞社・毎日新聞社
協力 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・
日本オリンピック委員会・日本パラリンピック委員会・
日本障がい者スポーツ協会
特別協力 島原市
企画運営 株式会社 JTB 新宿第三事業部
- 5 内 容 第一部 講演会 花岡 伸和 氏
第二部 体験 ブラインドサッカー体験＆ボッチャ体験
※詳細は、別紙のとおり
- 6 参加者 長崎県立島原高等学校1年生（174名）
- 7 その他 ○ これまで東北4校で開催（岩手県：一関学院高等学校 2021/6/26、宮
城県：東北高等学校泉キャンパス・ウルスラ学院英知小・中学校
2021/6/10、福島県：尚志学園尚志高等学校 2021/6/12）
○ 東北以外では、初めての開催。令和4年1月以降に東京で1校開催予
定。来年度より全国に展開して事業を行う予定。
○ 東北では「産学連携」の取り組み。今回は、初めて島原市が参加し、
「産官学連携」での取り組みを行う。



担当：島原市スポーツ課 生涯スポーツ班
担当 中島・土本・本田
電話：0957-68-5474
E-mail：sports@city.shimabara.lg.jp





POTENTIAL MEETS YOU.

可能性に、会いにいこう。

in島原市



POTENTIAL MEETS YOU.

可能性に、会いにいこう。

障がい者スポーツという人間の可能性とそれをサポートする企業の可能性、中高生という若い可能性がパラスポーツを通じて、日本の新しい可能性を生み出していくことをビジョンに掲げ2020年にスタートしました。新型コロナウイルス感染症拡大によりスポーツ大会の多くが無観客開催となり、直接の応援・観戦が出来ず、アスリートたちのスポーツを通じて困難に立ち向かうマインド、感動、未来を感じることが出来なくなり、若者たちの生活はただ不自由な日々で直面していました。「POTENTIAL MEETS YOU. 可能性に、会いにいこう。」プロジェクトは、将来を担う世代にアスリートとの交流や競技体験を通じて、不自由であるが不幸ではないというパラアスリートたちのメッセージをSDGs、共生社会の実現への取り組みと合わせて発信することで、新しい可能性を見つけるために貢献して参りたいと思っています。

開催

2021年11月30日 (火)

内容

第一部 9:35～ 講演会
第二部 10:30～ ブラインドサッカー体験
12:10 & ボッチャ体験

場所

長崎県立島原高等学校
体育館



島原 (イメージ)



島原市長 古川 隆三郎様よりメッセージ

本市では、ドイツパラ陸上選手団が事前キャンプを行ったことがきっかけで、市民はパラスポーツのすばらしさを実感することができました。事前キャンプ中は、楽しみにしていた直接ふれあいができる交流がかなわず、練習の様子を情報発信するのみにとどまりました。パラスポーツの観戦で感じた思いをきっかけに、今後の共生社会を理解する上での学びの機会を更に進めるため、「POTENTIAL MEETS YOU」プログラムを関係機関の協力を得て開催していただきます。パラアスリートとの交流やパラスポーツ体験から、様々な立場の人が壁を感じることなくお互いに助け合うことのできる社会の実現に向けて、間近に触れ、学んでいただきたいと思います。

■協賛
■協力
■特別協力
■企画運営

味の素株式会社・TOTO株式会社・清水建設株式会社・株式会社JTB・朝日新聞社・毎日新聞社
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・日本オリンピック委員会・日本パラリンピック委員会・日本障がい者スポーツ協会
島原市
株式会社JTB 新宿第三事業部

PROGRAM

▶ 元パラアスリート 花岡伸和氏による講演

講演
テーマ

可能性に会いに行こう

人生の大きな局面で、様々なことに挑戦し、常にポジティブに道を切り拓いてきた自身の経験から、次世代を担う若者たちに如何にして自分の可能性を信じ夢を実現していくかを力強く語りかけます。



花岡 伸和氏 アテネ2004パラリンピック / 北京2012パラリンピック出場

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟副理事長。1976年3月13日、大阪府出身。ブーマ ジャパン所属。1993年、高校3年時にバイク事故で脊髄を損傷し、車椅子生活となる。1994年から車椅子陸上を始め、2002年には1500メートルとマラソンの当時日本記録を樹立した。2004年アテネパラリンピックに出場し、マラソンで日本人最高位の6位入賞。2012年ロンドンパラリンピックでは同5位入賞を果たした。現在は国内外のパラサイクリング大会に出場する傍ら、日本パラ陸上競技連盟副理事長および車いす競技強化部長なども務める。東京2020パラリンピックではNHKの陸上競技の解説を務め、連続テレビ小説「おかえりモネ」では車いすマラソン指導も担当した。

▶ 講演に参加した中高生の感想

今回、この講話を聞いて私も思い通りにいかない時期があっても、今日を過ぎてしまったら二度と戻ってこないから、様々なことに挑戦し続けていこうと強く思いました。

今日の話を聞いて、スポーツで上を目指して結果を残すためには、成功するか失敗するかは別として、今日できることにチャレンジすることが大切だということがわかりました。

「目標となりたい自分のイメージ」があれば、そのために続けることができると教えてもらったので、これからもスポーツを続けていくために、その都度目標を設定して、そのために頑張って、よりよい景色を見ることができるようになりたいです。



▶ 体験① ボッチャ

ヨーロッパで生まれたボッチャは重度脳性麻痺者や四肢機能障がい者のために考案されたスポーツです。ジャックボールと呼ばれる白いボールに赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたりして、いかに近づけるかを競います。



▶ 体験② 5人制サッカー（ブラインドサッカー）

日本ブラインドサッカー協会から3名お越しいただき体験会のサポートをいただきます。アイマスクを着用し音のなるボールでプレイするフットサルです。ボールは「カシャカシャ」という音が鳴りフットサル4号球を利用します。フィールドプレイヤー4名、ゴールキーパー1名の5名でチーム編成しゴールの裏側にはガイドがいます。ガイド・監督は晴眼者が行います。当日はアイマスクを着用しドリブルを体験していただきます。



▶ POTENTIAL MEETS YOU. バーチャル体験

アスリートの講演や競技体験会、学校や企業の紹介などが掲示されているバーチャル空間を訪ねることが出来ます。



推奨環境

ブラウザはGoogle Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefoxの最新バージョンをご利用ください。

(Windows10及びMac OS X上で動作を確認しております。)

閲覧には安定したインターネット回線が必要です。

【URL】 <https://pmy.kasou-eigyousho.jp/welcome/>

■メールアドレス pmy.project.2021+jtb-user@gmail.com

■パスワード pmy2021

※上記メールアドレス及びパスワードを入力して「ログイン」をクリック
(ユーザー登録は不要です)

※2021年12月31日まで利用可能となります。